

人物紹介



イルウエス



アルタ

あらすじ

金色の瞳と花が咲いたような痣のある白鹿・アルタは、命を助けてくれた兵士・イルウエスと恋に落ちる。だが、白鹿は王族に嫁ぐ宿命だった。イルウエスと引き離され、王子・トグトと番になりながらも、アルタはイルウエスが迎えに来てくれると信じ続けていた。だが、連絡が取れないまま3年が経ち、極北で再会したイルウエスは記憶を失っており…!?

オルツイイ様  
いいですか

狼がいる  
とはいえ

何が起こるか  
わからないの  
ですから!

昨日も申し上げましたが  
あんなに大衆がいる中で  
お一人でどこかへ行かれては  
困りますよ

どこかに行かれる際は  
必ず護衛のものを  
何人かお連れください

ここは王宮内とは  
違って危険が  
多いのですよ!

万が一、事件や  
事故に巻き込まれ  
でもしたら…

聞いて  
らっしゃいますか?!

うん…



イルウェスが  
いた——…



死んで  
いなかった



動いてた

生きていた



手紙をくれなかったのは  
事故に巻き込まれて  
いたから

よかった…

嫌われたわけじゃ  
なかった

オオルツィイ様…？

だってまだ、  
こんなにも  
好きなのに

三年間、忘れようとしていたのが  
馬鹿みたいだ  
忘れられるはずない

イルウエスともっと  
話したい…  
あの後全然  
話せなかったし…

どうして  
いるんだろう…

オオルツィイ様  
どこに行かれ  
るんですか？

村を見て  
回ってくる。  
顔見せも  
仕事のうちでしょ

そうですが…



…わかった



キッ

何かあってはいけないので  
護衛のものも  
一緒に行きます！



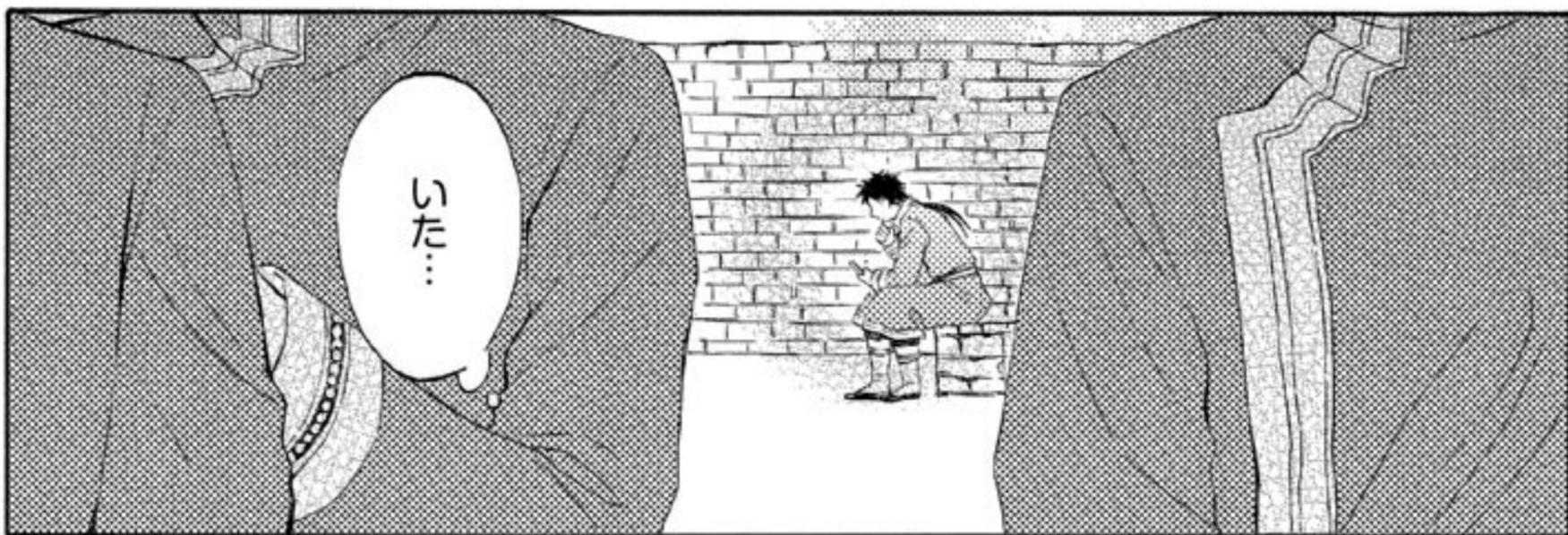
白鹿様！  
わざわざこんな所に  
足をお運びいただき  
ありがとうございます！



兵士っていつと  
兵舎に行けば  
会えるかな…



やりこ  
くいなあ…





こちらこそ  
その、急に話し  
かけてしまって  
ごめんなさい



昨日は大変失礼な  
態度を取ってしまった  
申し訳ありませんでした



白鹿様…



昨日言っていた  
記憶がないって…  
本当ですか？

全部…？

何も覚えて  
ないの？



ここに来る  
前のことは…？  
ここに来た理由も  
思い出した？



いえ…事故にあった  
当初は自分の名前も  
わからなかったんですが

最近だいたい  
思い出して  
きているんです

…自分がどこで  
生まれ育ったのか

どうやって  
生きてきたのか…  
昔の友人のこと…



…辛い？  
思い出せないこと



…すみません

昔のことは思い出せても  
極北に来る少し前の  
ことはまだ思い  
出せなくて…



そう…

あ…



思い出せないのは  
大変ですが

ここの人たちはとても  
良くしてくれますので  
辛くはありません



これですか？  
大層なことでは  
ないんです

日々起こった  
小さな出来事や  
気付いた物事を  
書き付けている  
だけです

どうして？

それ、さっき  
何してたの？



それがどうして  
書いているのか  
自分でも分から  
ないんです



ただ、誰かのために  
ずっと書いて  
いるんです



誰か…って…



それでも時々、ふと「あ、伝えたいなあ」と思うことがあって

筆をとるんです



いくら考えても思い出せない

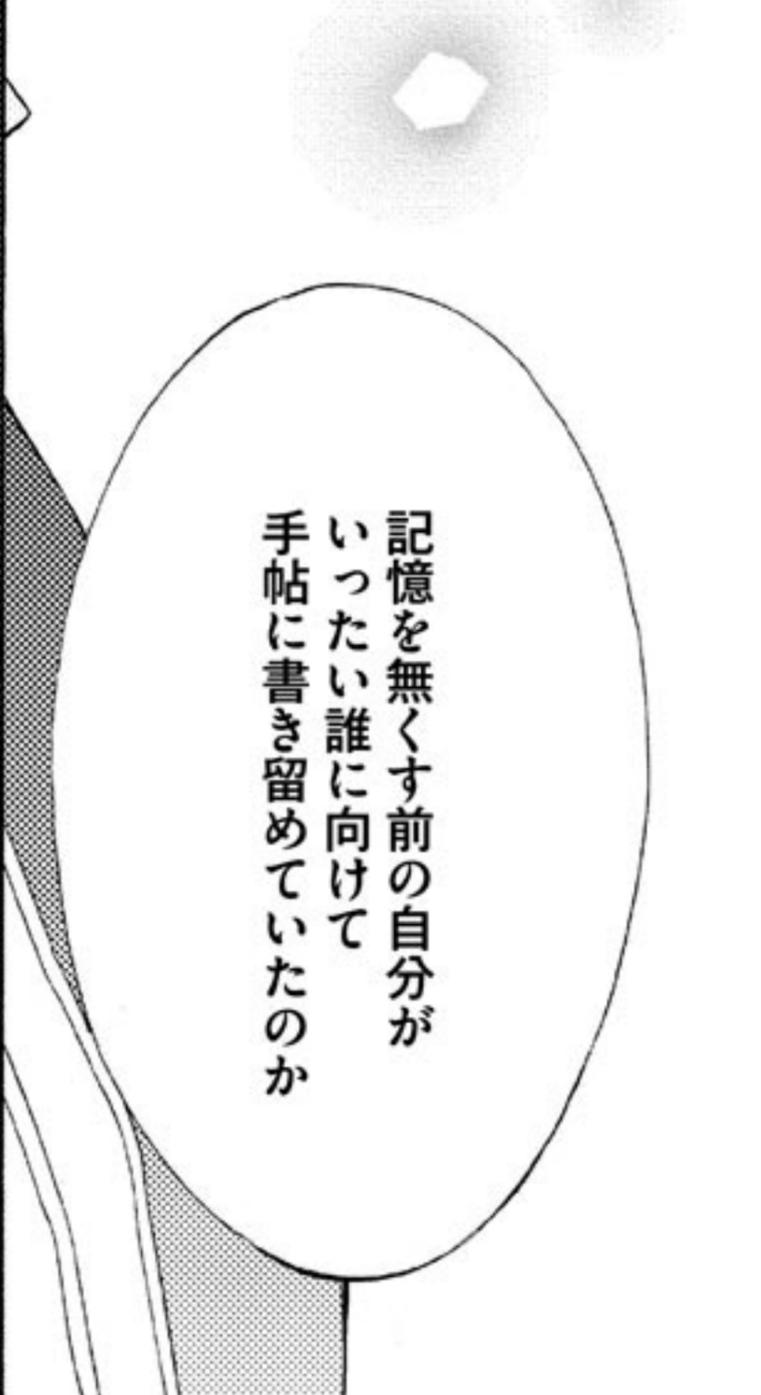


…思い出せないんです



顔も思い出せない相手なのに

それでも書かずにはいられなくて…



記憶を無くす前の自分がいったい誰に向けて手帖に書き留めていたのか



手帖の相手は  
記憶を無くす前の  
私にとって

とても大切だった  
人なんだと  
思います



大切な…



顔は思い出せ  
ないんですけどね  
ほらここに



名前が書いて  
あるんです